

HDL シリーズのパフォーマンスを最適化するための アコースティック環境について

2022/10/07

Environment –アコースティック環境について–

HDL シリーズは、Nureva 独自の技術である Microphone Mist テクノロジーにより、室内のどの場所に話者がいても均一に集音が可能です。

最適なパフォーマンスを実現するために最も重要なことは、システムが動作しているアコースティック環境です。HDL シリーズの集音能力はアコースティック環境に影響されます。アコースティック環境とは、部屋内に生じる空調などのノイズや、壁や天井などの反響の程度についてです。

本書では良好な音声会議に必要なアコースティック環境について説明します。

Ambient noise – 暗騒音 –

話者の声を明瞭に聞き取るためには、部屋内の空調などを含む騒音が話者の声よりも少なくとも 20dB 低いことが必要です。部屋内の騒音が大きければ大きいほど音声は明瞭でなくなり、周囲の騒音が小さければ小さいほど音声はより明瞭になります。平均的な人間の声の音圧レベルは 60~65dB SPL であることから、部屋内の騒音レベルは **40~45dBA 以下**が理想的な環境となります。

Reverberation –残響–

残響とは、音が壁や天井などに反射しそれが繰り返されることで音が止まった後も響いて聞こえる現象です。マイクロフォンは反射が少ないほど部屋内の会話をより明瞭に集音することができます。反対に反射が多いと元の音声信号が妨害され、集音される会話は不明瞭になります。

残響時間 (RT60) は 0.25s~0.6s を推奨します。

RT60 とは音声が終わった後、音圧レベルが 60dB 減衰するまでにどれだけの時間がかかるかを測定した数値です。

ガラス、コンクリート、レンガ、金属類などは反射率が高く、部屋の中で大きな反響を起こす可能性があります。反射率の高い面にカーテンや吸音パネルを設置することで、部屋内の残響を軽減することができます。

株式会社オーディオブレインズ

AUDIO  **BRAINS**

〒216-0034

神奈川県川崎市宮前区梶ヶ谷 3-1

電話: 044-888-6761

<https://www.audiobrain.com/>